

別紙様式4 (その3)

抽出事案説明書

(担当部局名：盛岡広域振興局土木部)

入札方式	随意契約方式
工事名	山岸一丁目地区急傾斜地崩壊対策（その2）工事
工事種別	のり面処理工事
工事概要	施工延長 153m 鉄筋挿入工 603 本 受圧板設置工 603 箇所 頭部締付工 603 箇所 中抜け防止落石防止網工 190 m ²
随意契約の理由	<p>本工事は、令和2年度発注(現在施行中)の「山岸一丁目地区急傾斜地崩壊対策工事」に引き続き地山補強土工（プレストネット工法）を施工するものであり、土砂災害危険箇所である当該急傾斜地を安定させるため早期の完成が求められている。</p> <p>しかし、施工場所は住宅密集地で道路幅が狭く迂回路及び旋回場所のない現場であり、仮設工設置及び資材置き場は限られたスペースしか利用することができない。また、全面通行止めは不可能なため、短時間での通行規制を行いながら施工する必要があり、他の者が施行すると出会い丁場となり、現場が錯綜し工事の円滑な進捗及び安全管理に支障をきたすとともに、工事の責任関係が不明確になるおそれがあり2社での施工は困難である。</p> <p>下記選定業者に随意契約することによって、現工事と並行して施工できることから、1.5ヶ月程度の工期短縮が図られる。</p> <p>以上の理由により、競争入札に付することは不利であり、下記選定業者と随意契約を行うことが得策と認められるもの。</p>
契約金額	112,200,000 円 (うち取引に係る消費税額及び地方消費税額 10,200,000 円)
その他	<p>山岸一丁目地区急傾斜地崩壊対策工事</p> <p>受注者：丹内建設株式会社</p> <p>請負額：190,876,400 円</p> <p>工期：R2.10.28～R3.12.28</p> <p>工事内容：施工延長 153m 鉄筋挿入工 695 本 受圧板設置工 695 箇所 頭部締付工 695 箇所 特殊伐採1式</p>

随意契約理由書

工事名:山岸一丁目地区急傾斜地崩壊対策(その2)工事

根拠規定等	<p>・地方自治法施行令第167条の2第1項第6号 「競争入札に付することが不利と認められる場合」</p>
随意契約理由	<p>本工事は、令和2年度発注(現在施行中)の「山岸一丁目地区急傾斜地崩壊対策工事」に引き続き地山補強土工(プレストネット工法)を施工するものであり、土砂災害危険箇所である当該急傾斜地を安定させるため早期の完成が求められている。</p> <p>しかし、施工場所は住宅密集地で道路幅が狭く迂回路及び旋回場所のない現場であり、仮設工設置及び資材置き場は限られたスペースしか利用することができない。また、全面通行止めは不可能なため、短時間での通行規制を行いながら施工する必要があり、他の者が施行すると出会い丁場となり、現場が錯綜し工事の円滑な進捗及び安全管理に支障をきたすとともに、工事の責任関係が不明確になるおそれがあり2社での施工は困難である。</p> <p>下記選定業者に随意契約することによって、現工事と並行して施工できることから、1.5ヶ月程度の工期短縮が図られる。</p> <p>以上の理由により、競争入札に付することは不利であり、下記選定業者と随意契約を行うことが得策と認められる。</p>
選定業者	丹内建設株式会社
選定理由	<p>上記選定業者は、現在施工中である以下工事の受注者であり、現地に精通しており、また今回の山岸一丁目地区急傾斜地崩壊対策(その2)工事の施工方法を熟知している。</p> <p>業務名：令和2年度 山岸一丁目地区急傾斜地崩壊対策工事</p>

注)随意契約理由及び選定理由は、その理由を具体的に記入すること。



岩手県営建設工事請負契約書



- 1 工事名 山岸一丁目地区急傾斜地崩壊対策工事
- 2 工事場所 盛岡市山岸一丁目地内
- 3 工期 自 令和2年10月28日
至 令和3年 3月15日
- 4 工事を施工しない日及び工事を施工しない時間帯の定め
(1) 定めあり (別紙特記仕様書等のおとり)
(2) 定めなし
- 5 請負代金額 金 155,100,000 円
(うち取引に係る消費税額及び地方消費税額 金 14,100,000円)
- 6 契約保証金 金 46,530,000 円
- 7 解体工事に要する費用等 別紙1のおとり

上記の工事について、発注者と受注者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別記条項によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

本契約締結の証として本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 2年 10月 27日

発注者 岩手県

契約担当者 盛岡広域振興局長 泉 裕之



受注者

岩手県滝沢市篠木黒畑5-6-1
丹内建設株式会社
代表取締役 丹内 心一

令和3年3月25日

盛岡広域振興局長
泉 裕之 様

受注者 岩手県滝沢市藤木黒畑56-1
丹内建設株式会社
代表取締役 丹内 心一

建設工事請負契約変更請書 (第2回変更)

令和3年3月24日付けで協議のあった工事請負契約の変更については、次のとおり承諾します。

記

工 事 名	山岸一丁目地区急傾斜地崩壊対策工事
工 事 場 所	盛岡市山岸一丁地内

〔契約変更の内容〕

1 契約変更による工事完成期限

令和3年9月30日

2 契約保証の取扱い

契約変更による工事完成期限を含むように保証期間を延長する。

020-0735
滝沢市篠木黒畑 5 6 - 1
丹内建設 株式会社 様

盛岡広域振興局長

見積合せ通知書

下記の要領で見積合せを執行しますので、参加されたく通知します。

記

1 見積りに付する事項

- (1) 工 事 名 : 山岸一丁目地区急傾斜地崩壊対策 (その2) 工事
- (2) 工 事 場 所 : 盛岡市山岸一丁目地内
- (3) 工 期 : 令和4年3月15日 まで

2 見積合せの日時及び場所

- (1) 日 時 : 令和3年9月2日 10時00分
- (2) 場 所 : 岩手県盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎 3階 入札室

3 見積条件

別添のとおり

担当 経営企画部 経理課 電話 019-629-6508 FAX 019-629-6502

見積業者一覧表

5018

工事名	山岸一丁目地区急傾斜地崩壊対策(その2)工事						
工事場	盛岡市山岸一丁目地内						
工事期	令和4年3月15日 まで						
見積日	令和3年9月2日 10:00						
見積場	岩手県盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎 3階 入札室						
見積業者名	代表者	所在地	TEL/FAX	連絡先名称	連絡先所在地	TEL/FAX	
タンナイケンセンセツ 丹内建設 株式会社	代表取締役 丹内 心一	020-0735 滝沢市篠木黒畑56-1	019-687-1605 019-687-1612	0			

見積調書

工事番号	5018	見積日時	令和3年9月2日/10時00分	
工事名	山岸一丁目地区急傾斜地崩壊対策(その2)工事			
工事場所	盛岡市山岸一丁目地内			
予定価格	112,581,700	円	決定価格(税込み) 112,200,000 円	
予定価格 (税抜)	102,347,000	円		
見積業者名	見積額(千円)			決定額 (千円)
	第1回	第2回	第3回	
丹内建設 株式会社	122,000	121,000	118,000	
	第4回	第5回	第6回	
	115,000	112,000	108,000	
	第7回	第8回		
	105,000	102,000		

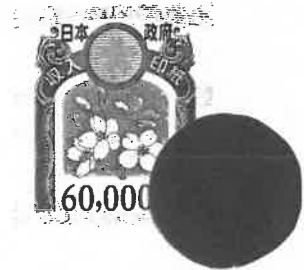
(50音順)

所属長	執行者	補助者	委任状確認者

備考 見積額に当該額の10%に相当する金額を加算した金額が法律上の見積価格である。
(決定額) (決定価格)



岩手県営建設工事請負契約書



- 1 工 事 名 山岸一丁目地区急傾斜地崩壊対策（その2）工事
- 2 工 事 場 所 盛岡市山岸一丁目地内
- 3 工 期 自 令和 3年 9月 14日
至 令和 4年 3月 15日
- 4 工事を施工しない日及び工事を施工しない時間帯の定め
(1) 定めあり（別紙特記仕様書等のとおり）
(2) 定めなし
- 5 請負代金額 金 112,200,000 円
(うち取引に係る消費税額及び地方消費税額 金 10,200,000円)
- 6 契約保証金 金 11,220,000 円
- 7 解体工事に要する費用等 別紙1のとおり

上記の工事について、発注者と受注者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別記条項によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

本契約締結の証として本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 3年 9月 13日

発注者 岩手県

契約担当者 盛岡広域振興局長 高橋 達也



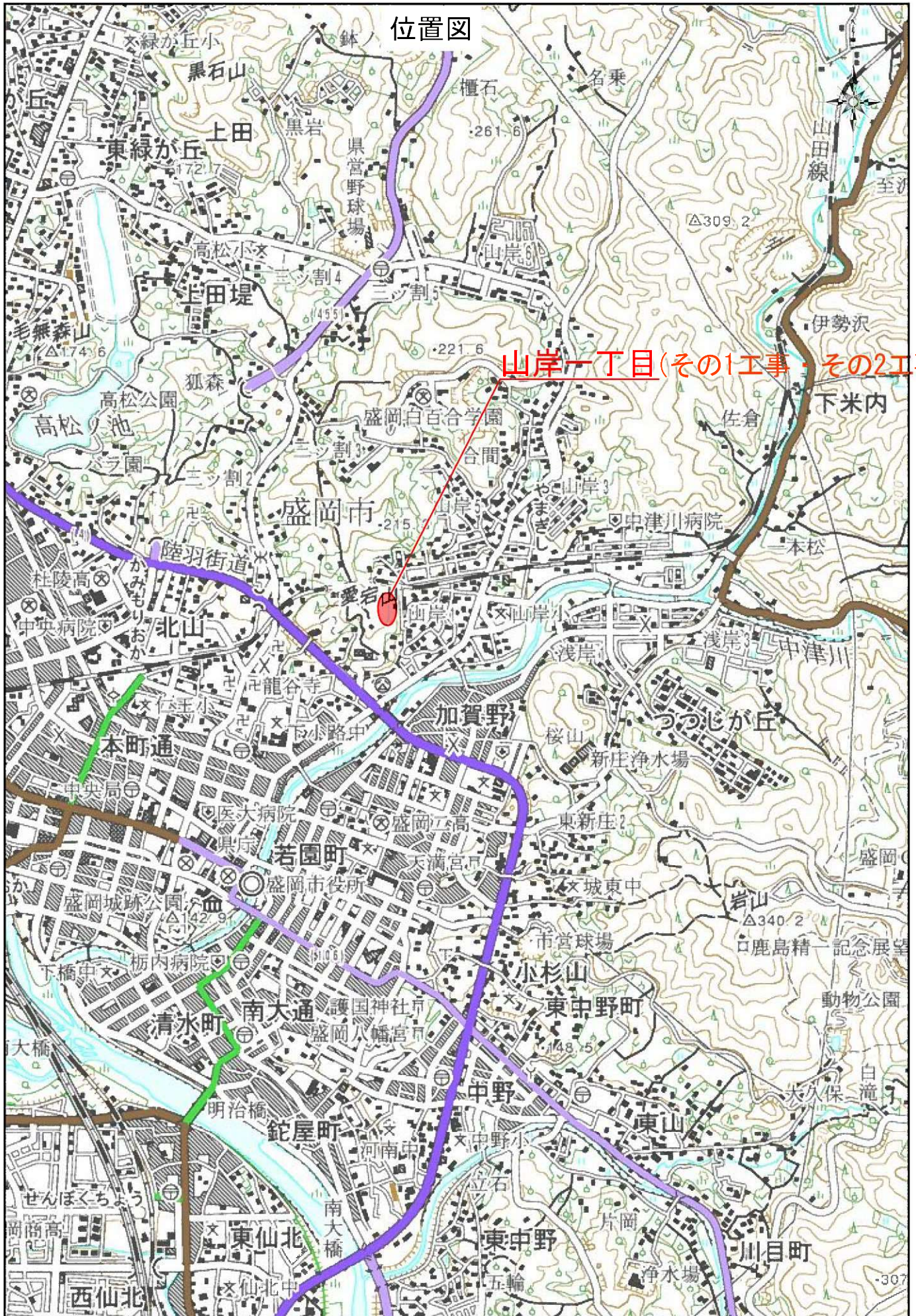
受注者

岩手県滝沢市篠木黒畑56-1
丹内建設株式会社
代表取締役 丹内 心一



山岸一丁目地区急傾斜地崩壊対策(その2)工事

位置図

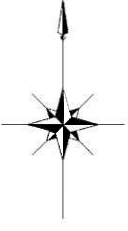


山岸一丁目(その1工事、その2工事)

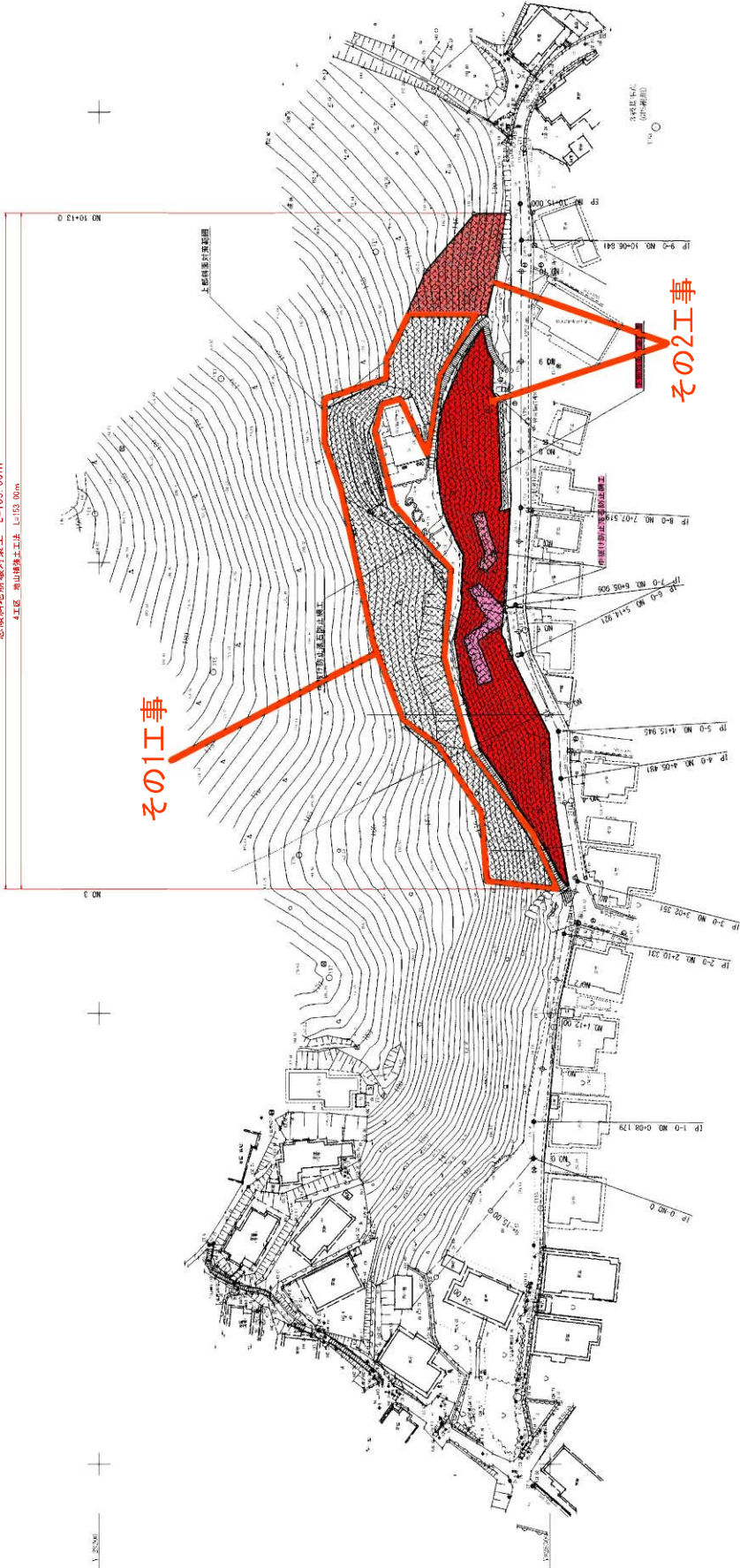
0 250 9 750 1000 m

1:25000

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号 平28備使、第307-GISMAP37585号)」



急傾斜地崩壊対策工 L=153.00m
 4工区 奥山線跡より左側 L=153.00m



その1工事

その2工事

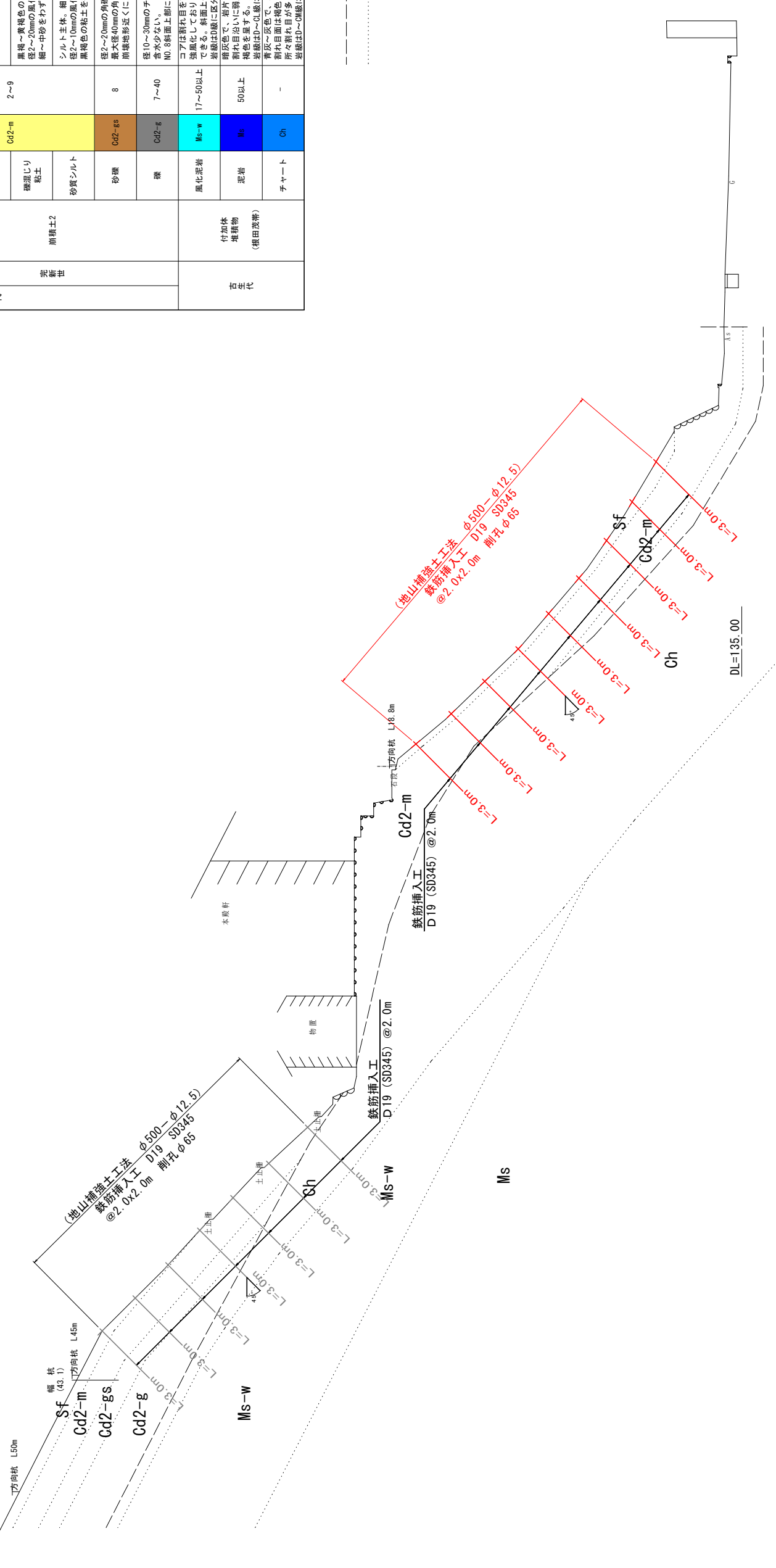
盛岡広域振興局土木部	
山形県山形市山形一丁目1番1号	
会社名	平面図
名称	年度
山形一丁目地区急傾斜地崩壊対策(その2)工事	
図	S=1:500

世界測地系

標準横断面図

地質年代	地層区分	土質・岩石区分		N値範囲	層相等	
		土質・岩石6	記号			
新 生 代	表土	シルト	Sf	-	草根含む。腐植物片含む。径2~20mmの角礫をわずかに含む。含水少ない。	
		礫混じり砂質シルト	-	-	シルト主体。腐植物片を多く含む。径20mmの角礫が混じる。砂分は細~中砂。	
	崩積土1	シルト	Cd1-m	-	草根含む。腐植物片含む。径2~20mmの角礫をわずかに含む。含水少ない。N0.1~1.2付近の斜面中層~下部の崩壊跡に分布する。	
	崩積土2	礫混じりシルト	-	-	-	シルト主体。径2~10mmの風化泥岩礫が混じる。腐植物片をわずかに含む。含水少ない。
		礫混じり砂質シルト	Cd2-m	2~9	シルト主体。径2~20mmの風化角礫(泥岩、チャート)が混じる。細~中砂を含む。	
		礫混じり粘土	-	-	-	黒褐~黄褐色の粘土。やや水気がある。径2~20mmの風化礫・チャート角礫が混じる。細~中砂をわずかに含む。
		砂質シルト	Cd2-gs	8	シルト主体。細~中砂含む。草根含む。黒褐色の粘土を挟む。	
	古 生 代	付加体 堆積物 (根田茂帯)	砂礫	Cd2-g	7~40	径2~20mmの角礫(泥岩、チャート)主体。最大径40mmの角礫を含む。基質は細~粗砂。崩壊地形近くに局所的に埋没される。
			礫	Cd2-g	7~40	径10~30mmのチャート角礫主体。含水少ない。NO.8斜面上部に局所的に埋没される。
			風化泥岩	Ms-w	17~50以上	コアは割れ目を認識できない砂~角礫状で採取。強風化しており、指先で簡単に崩壊することができ。斜面上部に分布する。
泥岩			Ms-w	50以上	暗灰色で、岩片は比較的硬質である。割れ目沿いに弱風化しており、割れ目面は褐色を呈する。所々にチャートが挟入する。岩盤はD~D線に区分される。	
	チャート	Oh	-	青灰~灰色で、岩片は非常に硬質である。割れ目面は褐色を呈する。小角礫化している。岩盤はD~D線に区分される。		

岩盤境界線
その他の地層境界線



鉄筋挿入工設計条件

種別	規格形状
ロックボルト材	D19 (SD345)
削孔径	φ=65mm
打設間隔	D=2.0m
打設角度	45°
全長	L=2.0~4.5m

地山補強土工法設計条件

種別	規格形状
規格	PN-φ500
間隔	2.0m x 2.0m
受圧板	φ500 t=6mm
連結鋼棒	φ12.5 (SS400)

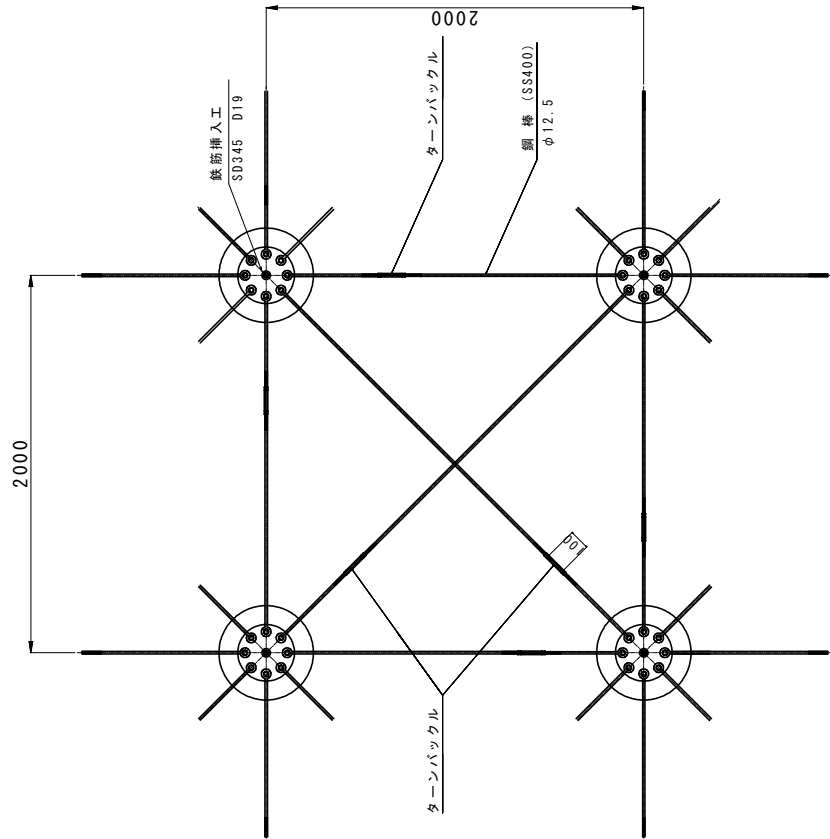
※ 露岩箇所は、中抜け防止落石対策として高強度ポリ落石防止ネットを設置する。
材料規格50 x 50 x φ2 (2本) 素線の引張強度318N/mm2

盛岡広域振興局土木部	
山岸地区急傾斜地	盛岡市山岸一丁目地内
全 共	枚ノ中 標準横断面
令 和	3 年度
山岸一丁目地区急傾斜地崩壊対策(その2)工事	縮 尺 S=1:100

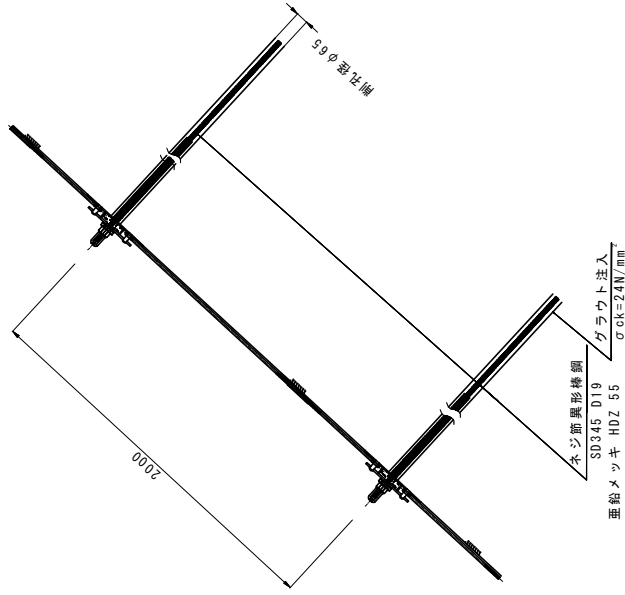
地山補強土工法一般図 (参考図)

構造図 (RB・D19タイプ)
PN-φ500-φ12.5 SS400

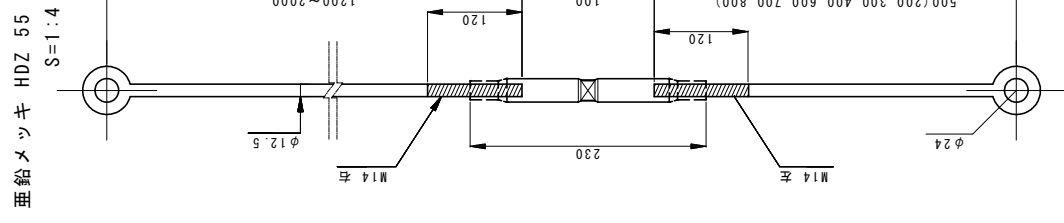
正面図 S=1:20



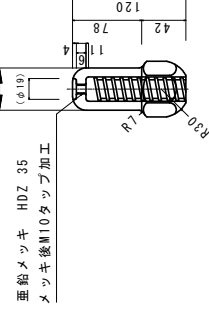
横断面図 S=1:20



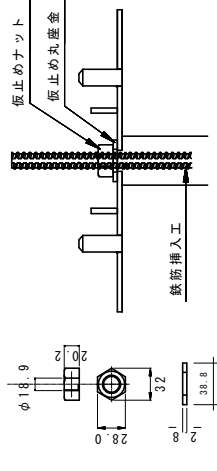
鋼棒 (SS400又はSMR400B)



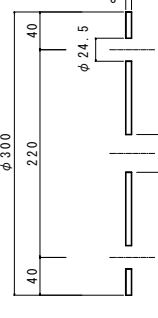
キャップナット (D19用) S=1:4



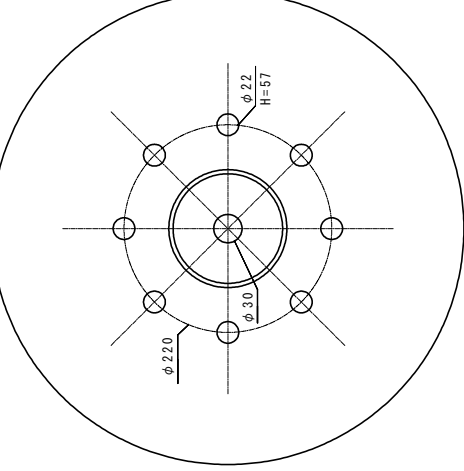
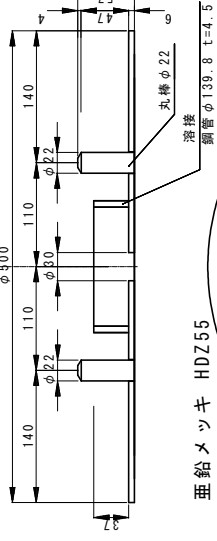
仮止めナット (D19用) S=1:4
(仮止めナット、仮止め丸座金)



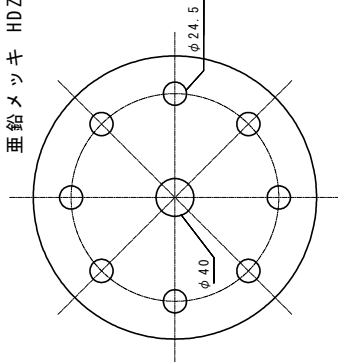
蓋プレート φ300 t=9 S=1:4
(SS400相当)



受圧板 φ500 t=6 S=1:4
(SS400相当)

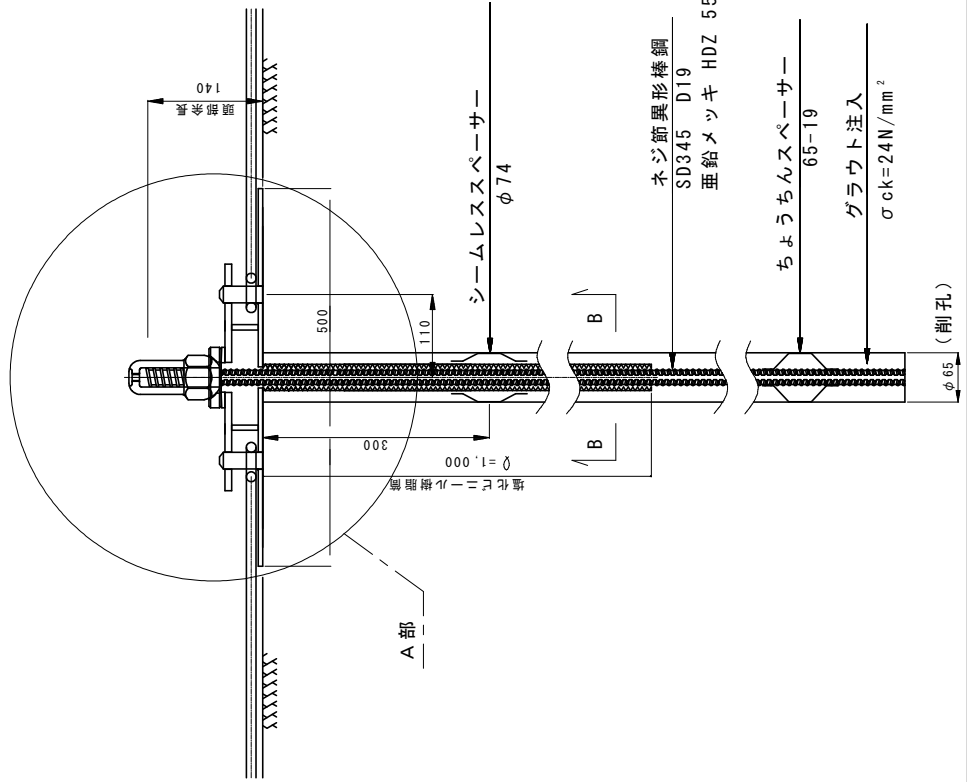


垂鉛メッキ HDZ55

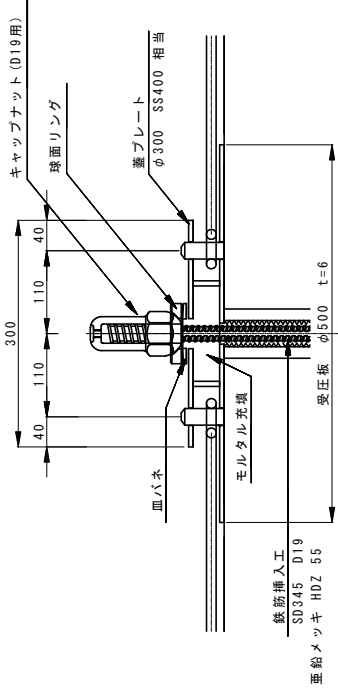


垂鉛メッキ HDZ55

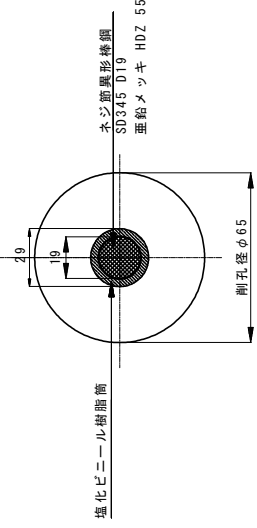
断面図 S=1:5



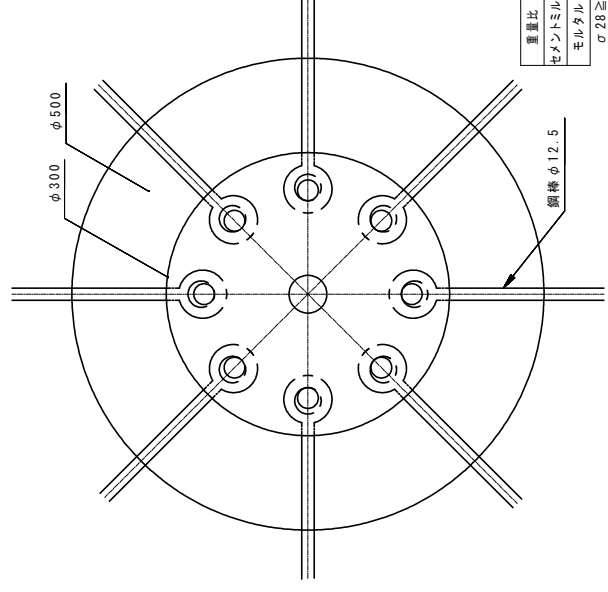
A部詳細図 S=1:5



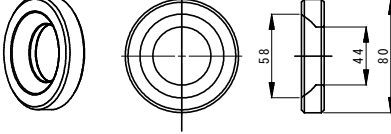
B-B S=1:2



鋼棒取付詳細図 S=1:4



球面リング
80×56×16
垂鉛メッキ HDZ55



施工上の留意点
注1: 鉄筋挿入工の安全性は、引抜き試験、確認試験によって確認することを原則とする。
注2: 鉄筋挿入工の施工に際しては、ボールリング調査等により背面地山の状況を事前に確認し、鉄筋挿入工の補強対策に対する安全性を調査する必要がある。
注3: スペーサーは最大ピッチ2.5mで最低2箇所以上設置する。

注入材の配合例		
重量比	セメント	水(C)
セメント比	1	0.40~0.50
モルタル	1	0.42~0.45

σck ≥ 24N/mm²
流下時間22秒以下 (P-ローポート: JIS A313-1992準用)
(1N/mm² = 10.2kgf/cm²)

盛岡広域振興局土木部	
山岸地区急傾斜地	盛岡市山岸一丁目地内
全 枚ノ中	地山補強土工 一般図 (参考図)
令和 3 年度	
山岸一丁目地区急傾斜地補強対策(その2)工事	
縮 尺	図 示